

GIANTS CUP



文武両道を堅持!
G杯初出場目指す
千曲ボーイズ

長野県千曲市

野球だけでなく英語と数学を学べる環境は選手に好評だ

2010年創部の千曲ボーイズ（長野）が奮闘している。選手は土日の練習に加え、平日（月～木）に長野市篠ノ井にある専用室内練習場で打撃中心に取り組む一方、隣接する事務所で開く塾で英語と数学を学ぶ。創部以来チームを率いる原知久

監督（44）は「嫌いな勉強にも向き合うことで培った強さを野球にも生かすことが目的」と塾を併設した理由を明かす。文武両道の姿勢が支持され、現在の部員は3学年で50人。肝心の野球でも結果を出し、全国大会はこの夏を含め春夏2度ずつ出場している。

昨年8月に始動した現チームは公式戦初戦で強豪・横浜緑稲（神奈川）に完全試合を喫する屈辱的なスタートを切った。「速いボールに対応できず悔しかった」と松田大成主将だが、その苦い経験が選手の負けん気を引き出した。「足腰から鍛え直す」と、冬場は毎日走り込み。雪の積もった日はグラウンドで長靴を履いての「雪上サッカー」も敢行した。「遊び要素を取り入れた」（原監督）というが、終わったときはへたり込む選手が続出するハドなトレーニングを全員が必要死でこなした。

自信を持つて臨んだ夏季全国大会予選は決勝で諏訪に5回コールド勝ち。本大会も初戦でスルガボーイズ（静岡）を相手に半藤慎士朗、原和博、杉原琉生の3連続長打などで2回までに8点を奪って快勝した。しかし、次戦は優勝した福井中学校ボーイズ（福井）に終盤、3点のリードを守れず逆転負け。「これだけやつても、まだまだ足りないということ」と原監督。新チームで全国8強、ジャイアンツカップ初出場を目指す。

「ジャイアンツを学ぼう」小学生が記者体験

～川相2軍監督、田口投手にインタビュー～

読売新聞社と巨人軍は7月31日、2軍の試合（対楽天）を教材にした小学生向けの教育プログラム「ジャイアンツを学ぼう」を初めてジャイアンツ球場で行いました。参加したのは東京・稲城市在住の5、6年生19人。

ベンとメモ帳を持った子供たちはクラブハウスを見学した後、グラウンドに入って試合前の練習を取材。さらにボール拾いを手伝うなど、選手との“交流”を楽しみました。川相昌弘2軍監督、田口麗斗投手を相手のインタビューでは、次々に質問しては熱心にメモを取っていました。



INFORMATION

イシワキターナショナル

参加者は取材した話を元に記事を書いて、各自の「ジャイアンツ新聞」を完成させました。榎駿一君は「試合を見ているだけでは分からることをたくさん聞けて、楽しかったです」と初の記者体験を笑顔で振り返りました。



[月刊ジャイアンツ]

monthly GIANTS

特別付録
上原浩治
クリアファイル

10
2018

報知新聞社
特別定価 600 yen

上原
浩治

原辰徳さん、松井秀喜さん
ダブル観戦記

大型連載

巨人の松井

平成23年1月25日第3種郵便物承認 第43巻第10号
平成30年10月1日発行(毎月1回1)